

もっと笑顔で、暮らせる明日へ。

aito

9

Spt 2025
No.366



【特 集】四百年以上続く伝統 焼畑あつみかぶ

【ミニ特集】青年部が看板を作成



耕そう、大地と地域の未来。





伝統の「焼畑農法」火入れ

火入れは灰を肥料とした良質な土壌づくりと病虫害駆除を目的とし、7月中旬に圃場の草木を刈り取って乾燥させ、8月の好天が続く日を選んで行います。下から火を入れると一気に燃え上がるため、山の上から下へと火を下ろし、ゆっくり焼いていきます。



10月上旬から12月上旬に収穫を行い、甘酢を用いた漬物に加工され産直施設やスーパーマーケットの店頭に並びます。



火入れ前に栽培講習会を行い、栽培管理のポイントを確認します。圃場準備や適切な施肥、病虫害の予防防除が重要となります。

四百年以上続く伝統 焼畑あつみかぶ



焼畑あつみかぶは、JA庄内たがわ温海支所園芸振興部会が鶴岡市温海地域で栽培している伝統野菜。同地域で400年以上続く伝統的な焼畑農法を行い、原産地である一霞地域で生産された種子のみを使用した赤かぶの名称です。排水性に優れた山間部の斜面と、ミネラルを豊富に含む土壌で栽培することでパリッと歯ごたえある食感に仕上がります。

伝統野菜
焼畑あつみかぶ



新しい出会い、新しい自分

羽黒支所管内 齋藤 祐子さん(66)

私は、ミシンに向かって時間が好きで、これまで洋服生地などで自分の小物を作っていました。以前から着物や緋(かすり)などを使った「和布リメイク」に挑戦したいと思っており、退職したことをきっかけに着物の帯も縫える本格的なミシンを購入し、作品づくりを始めました。

作品をつくるにあたって、型紙をつくるために図形の展開図を描いたり、計算したり、曲線の縫い合わせのために分度器やコンパスを使ったり、「今までの経験が活かされているな。数学の授業はムダではないな」と感じました。

始めはバッグや小物を中心に作成していましたが、4年程前、羽田庄内国際村で行われるワールドバザールに出品した際に、洋服もつくってほしいと要望があり、実家の母がつくっていたのを思い出しながら取り組み、今ではドレスやジャケットも作成しています。

今もフリーマーケットやクラフトマーケットに出品しており、私の作品を求めて、リピーターの方や新しいお客様に出会えることが嬉しく、さらに使用した感想や意見をもらうことで、より良いものを、より使いやすくなり、意欲が湧いてきます。これからもより良い作品づくりに取り組み、新しい出会いに感謝し、新しい自分を進化させていきたいです。



これからのより良い作品を！

あいとキッズ



テオトルのすべり台が楽しい！

シャインマスカットが大好き♡

姉弟仲よく！元気にのびのび成長を！！

藤島支所管内 はしもと 橋本 咲来ちゃん(5)
ゆう 悠生くん(3)

かわいいが大好きでお化粧グッズが気になる咲来ちゃんは、大きくなったら警察官になるのが夢！普段はブランコで遊ぶのが好きだよ！

飾りだけと色々なものに興味のある悠生くんは、嫌いな食べ物はなく、お魚が大好き♡大きくなったらウルトラマンになるのが夢だよ！



2人仲良く Gyu♡

ファミリーファーム

FAMILY FARM

新しい農業のかたちをつくりたい！

三川支所管内
さいとう けん たろう 齋藤 健太郎さん(43)

私は、会社員だった父の農業復帰をきっかけに6年前から本格的に就農しました。現在は水稲11㌔を中心に栽培しています。農業は地域や周囲の人々との助け合いによって成り立っています。私自身、ヘリ防除組合などの共同活動や青年部活動に参加し、「人との繋がり大切さ」を学びました。そうした経験から多くのことに挑戦し、少しずつできることを増やし、地域を支えたいと考えています。

今後は今年より導入したトラクターを活用して圃場の大規模化に取り組み、作業の効率化を図りたいと思います。また、同年代含め若い人たちに農業を始めたいと思ってもらえるよう、「過去にならって」や「いままでどおり」だけではなく、日々挑戦しながら農業を魅力的なものに変え「新しい農業のかたち」をつくっていききたいです。



SHONOSEITRY

日本一の米農家に

おやまだ ゆうだい 食料生産科3年 小山田 祐大さん



私の家は福島県でコシヒカリや天のつぶなど約20haを栽培する稲作農家です。農業従事者の高齢化や減少を受け、これからは更なる大規模経営を図っていかなくてはいけないと考え、米どころである庄内平野を有する山形県立庄内農業高校に進学をしました。高校では稲作の基礎基本から、ICTやAI、ドローンなどの先端技術を駆使するスマート農業について学びました。課題研究という授業ではアイガモロボットを活用し、持続可能な農業へ挑戦しました。これからの農業は従来の農業を様々な観点から見直し、新しい技術の導入や改善を図る事が必要不可欠だと思います。それがゆくゆくはお米の安定供給に繋がり、今なお続く不安定な米価を支える柱になると思います。

高校卒業後は地元である福島県で稲作農家を継ぎます。庄農でできた友達とどちらが早く日本一の米農家になれるか競争したいと思っています。



赤カブ・安定生産のポイント学ぶ

赤かぶ部会は8月1日、鶴岡市羽黒地域のJA分析センターで赤カブの栽培講習会を開いた。参加した部会員ら約10人は、安定生産に向けて栽培管理方法のポイントを学んだ。この日は、県庄内農業技術普及課の担当者が講師を務め、圃場管理や発芽後の管理について説明。排水不良な圃場では排水対策を実施し、土壌は適正pHである6.0～6.5程度になるよう施肥を行う他、播種（はしゅ）前の除草対策、適期播種を徹底するよう助言した。また、追肥は播種1カ月後を目安に行い、高温対策や湿害対策、病虫害防除に取り組んでいくこととした。2025年度は、8月下旬頃から播種を行う予定だ。



温室メロン・品質維持へ規格確認

温室メロン部会は8月6日、三川町にあるJA青果物集出荷施設で目揃え会を開いた。部会員ら約20人が参加し、出荷規格や収穫・調整方法を確認した。この日は、JA園芸特産指導員が収穫・調整方法を説明。基準糖度は14度以上とし、必ず試し切りで糖度を確認してから出荷し、1個1個重量を測定し、重量別に仕分けを行うよう呼び掛けた。また、収穫は果肉温度が上がらない朝に行い、涼しい場所で調整作業をする他、収穫したメロンの蔓を鋭利なカミソリで揃え、切り口は薬剤処理をするよう助言した。25年度は、出荷量約17トンを目標に地元や関東の市場へ向けて9月中旬まで出荷を行う予定だ。



幸水巡回・目揃え会

JA庄内たがわ櫛引支所なし部会は18日、鶴岡市櫛引地域で和梨「幸水」の園地巡回を行った。県庄内農業技術普及課職員と部会役員6人が園地4カ所を巡回し、2025年度の着果数や糖度、硬度などを調査した。

また25日、鶴岡市のJA南部選果場で目揃え会を開き、部会員約20人が参加した。県庄内農業技術普及課職員とJA園芸特産課職員がサンプルを用いて収穫・選別時の留意点を説明し、出荷規格などを確認した。

25年度はの生育は、高温少雨により小玉傾向であるが、糖度は平年以上に高くなっている他、軟化が早いめ色付きに注意しながら適期を逃さず収穫するよう呼び掛けた。

幸水の収穫は9月上旬まで続く見込みで、5%箱3000ケースを目標として主に地元市場へ向けて出荷していく。



JA NEWS

米の需給と価格の安定を

JA山形中央会・県農政対策本部は8月22日、「食料・農業・地域政策推進山形県要請集会」を山形市で開き、県内JAグループの関係者約600人、当JAからは農政対策議員等約50人が参加した。出席した県知事、県選出国会議員、県議会議員に、米の需給と価格の安定や備蓄米制度の堅持、米の再生産可能な適正価格の実現と国民理解の醸成、災害・感染症等に強い農業づくり対策などを国に対し強力に働きかけるよう要請した。また、生産者や消費者、青年部、女性部の代表ら5人が常態化する異常気象や生産コストの上昇などを踏まえ意見表明を行った。県JA女性組織協議会の平純子会長の頑張ろう三唱で要請実現への決意を強めた。

要請内容

「食料・農業・地域政策の推進に向けた要請」

- ①新たな基本法・基本計画をふまえた食料安全保障の確保
- ②農業の持続的な発展と農村振興
- ③品目別対策
- ④災害・感染症等に強い農業づくり対策
- ⑤関係団体の後押し



山形えだまめ食味向上プログラム現地説明会

山形県農林水産部園芸大国推進課とJA庄内たがわは8月26日、羽黒地域で「山形えだまめ食味向上プログラム」の現地説明会を開いた。説明会には、県やJA全農山形、JA枝豆部会関係者や県外の卸売業者ら約40人が参加。エダマメ圃場を視察した後、食味分析結果の異なるエダマメを食べ比べる試食会を行い、販売戦略やPR活動等に関する意見交換会を行った。課題として、消費者や市場関係者へのさらなるPRや、新たな販路の確保が挙げられた。

JAでは、光センサーを活用したエダマメ「出羽美人」を販売しており、今後もブランドの認知度向上に向けて栽培管理の徹底とPR活動を行っていく。

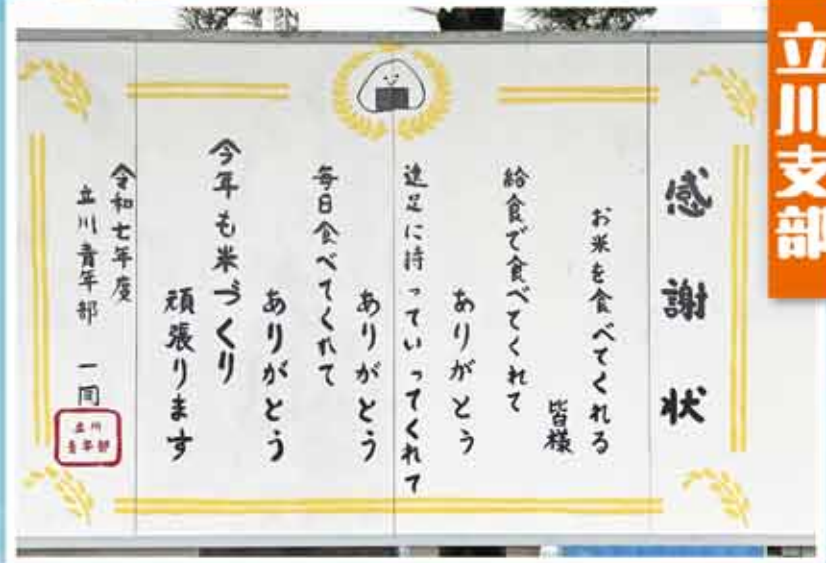


夏ネギ・高品質出荷へ規格確認

長ねぎ部会は8月5日、三川町にあるJA青果物集出荷施設で夏ネギの目揃え会を開いた。部会員ら約10人が参加し、高品質出荷に向けて出荷規格や出荷調整作業の留意点を確認した。この日は、JA園芸特産指導員が出荷規格と出荷調整時の留意点を説明。根は切るが、基盤を3%程度残し、長さは57センチに切り揃える他、鮮度・品質保持のため日陰で調整作業を行い、取り置きはしないよう呼び掛けた。同部会では今後、高温対策や病虫害防除の徹底、追肥などで品質維持に努めていく。夏ネギの出荷は、9月下旬まで続く予定で、年間出荷量約70トンを見込んでいる。



『感謝』を伝えよう！テーマに 青年部が看板を作成



立川支部



温海支部

消費者に向けての感謝を【感謝状】という形で表現しました。
青年部盟友が感謝の気持ちと米づくりへの情熱を込めて作成いたしました。

温海といえば、焼畑あつみかぶ。古くからある伝統的な焼畑農法とおいしさを多くの方に伝えたい。
そして、これからもあつみの特産物として守り続けます。



羽黒支部



三川支部

三川町が今年で70周年を迎え、今まで大地の恵みを頂いた三川町に感謝を伝えている。
スーパー戦隊シリーズも50周年を迎えたのでそれをオマージュしました。

はえぬきのパッケージの顔出しパネルには、子どもから大人まで幅広い層に山形のお米は美味しいということを伝えたいという思いが込められています。
この看板を見てお米やお米を育てる農家さんの事を考えるきっかけに、さらにその農家さんへの感謝の気持ちを少しでも多くの人に抱いてほしいと思い、こちらの顔出しパネルを作成しました。



エダマメ・月山ワイン視察

J A庄内たがわは7月に、山形県議会の高橋淳議員の紹介で、日本料理研究会の三宅健介会長、明治記念館の大宮康雄統括総料理長、山形優味の丸山環社長がJ A月山ワイン山ぶどう研究所、エダマメ圃場及び中部選果場を訪れ、月山ワインの製造現場やエダマメの収穫から調整までの流れを紹介した。当日は月山ワインの試飲やエダマメ「出羽美人」の試食も行い、食に精通する方々より在来作物をアピールした販売方法やPR活動の助言を頂いた。

その他にも7月にJ Aさくらんぼひがしね女性部高崎支部が同研究所、8月にはJ Aさがえ西村山枝豆部会寒河江支部が同選果場の視察に訪れており、J Aは今後も高品質な生産・栽培現場の視察希望の団体を受け入れ、県内外にファンを増やすべくPR活動を行っていく。



女性大学「あいとスクール」第3回講座・皿をつくる

J Aは8月23日、羽黒地域の松ヶ岡開墾場内にある松岡陶芸教室で女性大学「あいとスクール」第3回講座を開いた。参加した受講生16人が、第4回講座の和菓子づくり教室で使用する皿をつくった。この日は、同教室の下妻さきさんが講師を務めた。皿づくりでは、初心者でも簡単に作れる手びねりで、完成形を想像しながら粘土を道具で延ばし、形を決めた後、指先で延ばして縁をつくったり、スタンプや絵の具を使用してオリジナルの皿をつくった。参加した受講生は「初めてだったが、オリジナルの皿ができた。焼きあがって次回の講義ででき上がってくるのが楽しみ」と語った。



女性部が子ども達と料理教室

女性部三川支部は8月8日、三川町公民館で同地域の子ども達と料理教室を開いた。参加した子ども達と同部員ら約20人が夏野菜を使った料理に挑戦した。この日は、「レタスの混ぜご飯」「ガーリックトンテキ」「トマトとエダマメの卵汁」「米粉ドーナツ」の4品を子ども達と女性部員らが協力して完成させた。女性部員らが包丁の使い方や肉の下処理方法、油の温度の測り方などを丁寧に教え、参加した子ども達は料理に積極的にチャレンジしていた。料理はその場で振舞われ、自分達が作った料理を味わい笑顔を見せていた。同女性部では今後も、地域との関わりや部員同士の交流を深める企画を行っていく。



第59回 庄内フラワーショー

日時 令和7年9月26日(金)～28日(日)

会場 酒田駅前交流拠点施設ミライニ 1階光の湊ロビー (酒田市幸町1丁目10-1)

内容 【1日目】9月26日(金) 11:00～12:00 花きの審査会 12:00～16:30 一般公開
【2日目】9月27日(土) 10:00～16:30 一般公開、人気投票
※人気投票ご協力の方へ抽選で花ギフトプレゼント(限定120本) 人気投票は16:00で終了
【3日目】9月28日(日) 10:00～ 花の販売会
※売り切れ次第終了 ※9:50～整理券配布。お一人様2点までの購入

主催 庄内花き生産組織連絡協議会

共催 JA庄内たがわ、JAあまるめ、JA庄内みどり、JAそでうら、JA全農山形

その他 入場料無料
※花のご購入は現金のみとなります。※お越しの際は隣接の立体駐車場をご利用ください。
(2時間無料)

問合せ JA全農山形園芸庄内推進室 風間 TEL:0234-26-5253 FAX:0234-23-7731

JA庄内たがわ 産直 め農マルシェ 9月・10月イベントのお知らせ

SNSも
チェック
してね!

9/20(土)～23(火)

彼岸用
切花販売

秋彼岸用の切花をご用意しております。

10/4(土)・5(日)

秋の
味覚フェア

りんご、ぶどう、梨など秋の味覚を販売

9/27(土)・28(日)

新米
フェア当店でお米をお買い上げのお客様に限り、
発送時の料金がお得に! ※一部商品を除く

全国一律

(沖縄・一部離島を除く)

10kgまで 900円

X (旧Twitter)
@jashonai730Instagram
ja_shonai.marcheLINE ID
@498zaito

JAカードでお買い上げの方は 請求時に5%割引!

4月から9月までの営業時間9:00～17:30(定休日:なし)

なお、営業時間は諸事情により変更になる場合があります。変更の際は、ホームページなどにてお知らせします。

〒997-0824 鶴岡市日枝字小真木原88-1 TEL0235-25-6778 FAX0235-26-7880 E-mail sanchoku@ja-shonai.or.jp

農産物を出荷していただける産直協力を随時募集しています!

オンラインショップ 産直 め農マルシェ

検索

俳句・添削指導 阿部月山子先生

特選・添削

蚊遣火を 腰にひっさげ 草むしる

〔評〕夏の「きさし」仕事である。太陽に照らされて機械を使えず太陽熱の下で汗まみれの仕事である。実りを祈る。

白桃を 剥けば微かに 喉が鳴る

〔評〕白桃を剥くと美味しい香り早く早く食べたくなるが、先ず、神仏を拝んでからが、心が落ちつく。

小石投げ 波紋親へし 夏の川

〔評〕幼い頃は、遊び場も少なかった。対岸まで石を投げて遊んだのである。

踊り子の 頬紅含み 花のごと

〔評〕奥の細道で松尾芭蕉は、中国の美人西施になどとて、花の如く、頬紅を施した。踊り子の頬紅にたとえて表現しているのが良い。

夏霧や 突如現る 避難小屋

〔評〕標高の高い山の山頂に、避難小屋を建て、時には、天候が悪く精神的に揺れる。嵐雨の日などは特に前音を吐きたくなく、突然現れた避難小屋には命を救われた気持ちでいる。

親ゆすり 時かねばならぬ 秋野菜

〔評〕「時」で秋野菜と言ってしまうが冬の保存用の野菜を兼ねた大切な仕事である。

早田に 立つ雨乞ひの 老農夫

〔評〕早田で雨乞ひが多いが、今年は年間を通して少雨で、台風が少なくは雨が多いが、早にもなる。

※校了の都合により、投稿の締め切りは毎月二十

日とさせていただきます。

えがお・デ・あいと

女性部の方々よりタオルの寄付頂きました

JA庄内たがわ女性部の方々より今回も沢山のタオルを頂きました。本当にありがとうございます。ふきんを作るなどの手指機能訓練や様々な場面で活用させて頂いております。大事に使用させていただきます!!!



あいと農園で 続々収穫中!!



どうも、小玉スイカ、しそ、ねぎ、トマトの収穫が全盛期を迎えています。収穫した作物はおやつや昼食時に提供させて頂いています。暑い夏は夏野菜を食べて乗り切りましょう!!

総務部福祉介護課 TEL:0235-33-8165 FAX:0235-33-8166 E-mail:fukushi@ja-shonai.or.jp

JAバンク利用者満足度調査の実施について

本調査は、JAバンクをご利用いただいている組合員・利用者の皆さまの中から一部の方を対象に、JAに対する満足度のアンケートをご依頼させていただいているものです。アンケートの対象となった方には、ハガキがメールで送付されますので「JAバンク満足度調査」回答ページにアクセスいただき、回答へのご協力をお願いいたします。

実施期間

8月中旬～9月中旬

理事会だより

令和7年8月26日

議案報告

第1号 令和7年度7月末実績検討について

第2号 大口資金の貸出について(案)

第3号 理事と組合員の利益相反取引の承認について(案)

第4号 令和7年度産米概算金取扱要領及び令和7年度産米概算金設定について(案)

第5号 農産物検査業務規程の一部変更について(案)

第6号 固定資産の取得について(案)

以上6議案、慎重に審議され原案通り決定されました。

〔報告事項〕

・組合員の異動について

・令和7年度上期座談会座談事項について

・総代選挙の結果について

・管理金融担当委員会報告について

・年金友の会研修旅行について

・振込手数料改定(予定)のお知らせについて

・令和7年度JA庄内たがわ出荷契約米共同計算取扱要領の制定について

・令和8年度「つや姫」「雪若丸」生産者募集について

・令和7年度9年度産米穀の複数年契約について

・営農経済担当委員会報告について

・広域農用地利用調整協議会報告について

・庄内たがわ農協農政対策推進協議会委員会報告について

・JA庄内たがわ渇水・高温緊急対策会議報告について

・その他

「心の声」10月号投稿のテーマ 「秋のおすすめスポットを 教えてください。」

今月のプレゼント



1名様

【応募方法】下記の①～③を郵便はがき・Eメールにご記入の上ご投稿ください。①テーマの答え(本紙やホームページ等で掲載致します)②住所・氏名・年齢・電話番号③広域経済の感想、JAへの意見・要望など

【あて先】JA庄内たがわ広報情報係 〒999-7611 鶴岡市上藤島字橋中下3-1 E-mail kouhou@ja-shonai.or.jp

【しめきり】令和7年9月30日(火) 当日消印有効

※投稿頂いた方の個人情報は、目的以外には使用いたしません。

JA庄内たがわ温海支所園芸振興部会

私たちJA庄内たがわ温海支所園芸振興部会あつかぶ専門部は生産者約70名が約8㍍の山間部で「焼畑あつまかぶ」を栽培しています。「焼畑あつまかぶ」は山林の伐採跡地などを焼いた灰を肥料として利用する伝統的な焼畑農法を行い、ミネラルを豊富に含む土壌で栽培することで、外皮が暗紫色で薄くきめ細かく、パリッとした歯触りに仕上がります。



「心の声」

今、一番会いたい人は？

バナマンの日村さんです。せっかくグルメで、鶴岡市に来てくれた時のためにいつもおすすめるグルメを考ええています。 H・Sさん【鶴岡市】

楊貴妃に会いたいです。世界三大美人と言われ、西暦700年代の方ですが、香水も使われていたとか。体型はふくよかしく、いろいろな言われていますが、実際に会いたくて、できれば香水がどんな匂いなのか聞いてみたい。 K・Sさん【鶴岡市】

昨年12月に77歳で急逝した私より9歳年上の方で、人生の生き方を教えてくれた兄の様な方に会いたいです。 S・Sさん【酒田市】

会いたい人と言えば二人います。一人は亡くなった祖母。私の母親の役目を果たし、厳しい人だったが、自分を育ててくれた、大切な人でした。もう一人は安倍元首相。一度もお会いしたことがなく、鬼籍に入られたのが、政治に初めて期待感を抱くことができた偉大な政治家でした。 M・Kさん【京都府】

大谷翔平さんに会ってみたいですね。あの優しそうな笑顔が良いですね。 H・Kさん【愛知県】

私が会いたい人は大谷翔平選手です。息子と同年なので自分の子供のように応援しています。将来の夢や野球に対する考え方を聞いてみたいです。できればサインボールとバットがもらえたらうれしいです。 K・Yさん【鶴岡市】

亡くなった両親です。もっとたくさん話をしたかったし、もっと甘えたかったです。いつも私の心の中に生きています。本当に一番会いたいです。 Y・Sさん【鶴岡市】



aito
Spt 2025
No.366

発行/庄内たがわ農業協同組合

〒999-7611

山形県鶴岡市上藤島字備中下3-1

TEL.0235-64-3000

電子メール tagawa@ja-shonai.or.jp

印刷/庄内農村工業農業協同組合連合会



ホームページ

X (Twitter)

Instagram